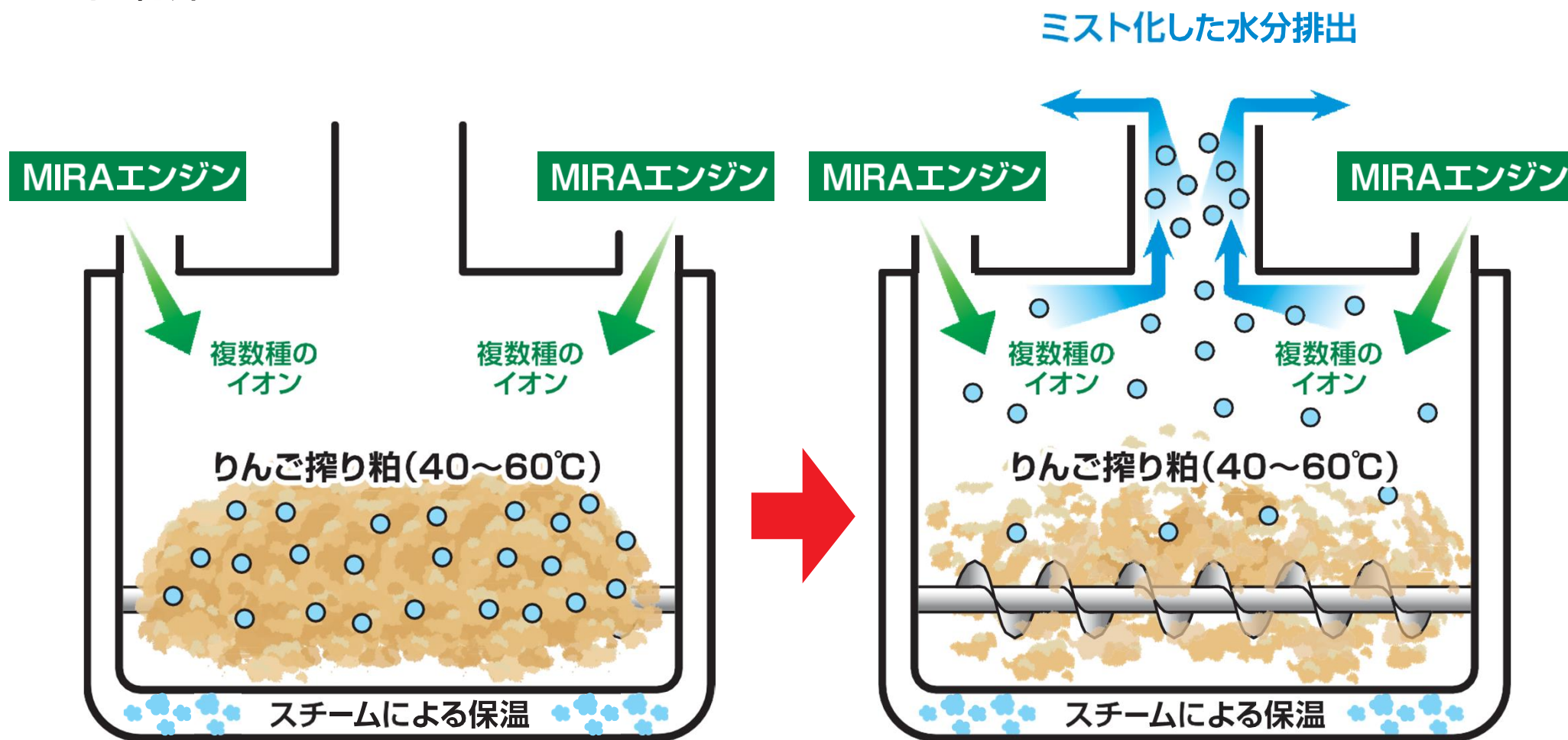


1. 高熱を利用しない「レドックスマスター乾燥機」

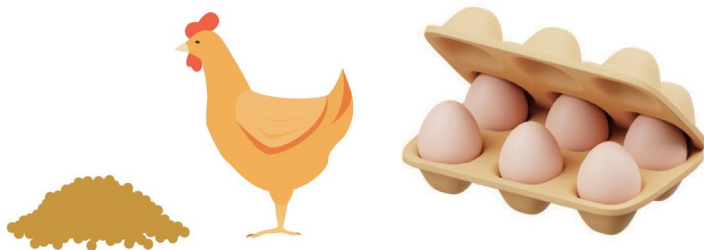
イ. 乾燥プロセス



- ア. グレンカル・テクノロジー社、独自のプラズマ技術により、複数種のイオンを発生させ、対象物の乾燥を促進。
- イ. 高熱を使用することなく、イオンとスチームによる保温の相乗効果で低温・低コスト乾燥を実現。
- ウ. 高熱処理による炭化、酸化がなく、成分・栄養素が保持できるため、資源として幅広く活用できる。

2. りんご搾り粕乾燥品を活用した取組み

ア. JAグループ飼料会社との取組み

	使用用途等
(ア) りんご搾り粕 乾燥品 	採卵鶏用飼料 として活用 
(イ) りんご粕 コーヒー粕 乾燥品 	牛への機能性飼料 として活用 利尿作用による食欲増進等 

2. りんご搾り粕乾燥品を活用した取組み

イ. アップルレザー

RINGO-TEX

appcycle(株)は、りんご搾り粕を配合した
ヴィーガンレザー「RINGO-TEX」を開発。
環境に配慮した各種製品を商品化。



「ANA GreenJet」の
ヘッドレストカバー



王林さんがプロデュースする
「アップルレザーバック」
「アップルレザーキャップ」

aplena (アプレナ)

LOVST TOKYOは、りんご搾り粕由来の
アップルレザー「アプレナ」を生みだし
植物由来の各種レザーアイテムを展開。



「Apple Room Key」



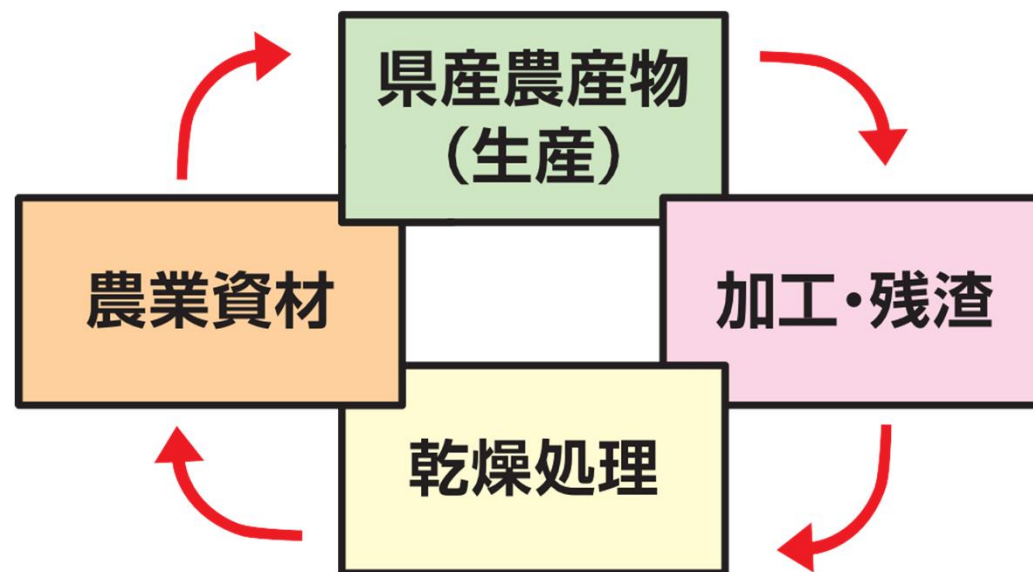
「Apple Rucksack」

2. りんご搾り粕乾燥品を活用した取組み

ウ. 農業用資材

りんご搾り粕等からバイオプラスチック原料を生成。それらから農業資材をつくりだしその資材を生産者が使用することで、農産物生産の循環型資源活用を目指します。

循環型資源活用



【試作品】りんご用 20kgコンテナ

さらなる、りんご搾り粕の有効活用

- ① 安心して使えるバイオプラスチック
農業用資材の実用化
- ② ダンボールへの使用など紙素材の
活用の幅を広げる